

里親施設の子供がペド犯によって驚くべき率で殺され、

メディアは沈黙

子供養育事業におけるペドの蔓延は調査の対象になっていない

【訳者注】アメリカでは、親を失うか親から引き離された子供を預かって養育する施設が、邪な者たちに食べ物にされている。メディアが沈黙しているということは、メディア - 国家複合体に正義感が全くないことを示している。それをこの論文は教えてくれる。(イギリスのメイ首相のペド寄り発言を参照：<http://www.nnettle.com/features/968-british-pm-theresa-may-pedophiles-should-be-allowed-to-adopt-children-too>) この問題にしても、海外の市民殺しにしても（米政府が ISIS を使うのは、残虐さのウマが合うからだと言った人がいる）、各界各層のペドフィリアの蔓延にしても、人間をモノとしか考えない気風が、アメリカを官民ともに支配しており、完全に「国家の体をなしていない」(P・C・ロバーツ)ことは明らかである。悪魔思想という霊的悪貨が神思想を駆逐している形だ。それに気づいて戦闘態勢を取ろうとする風潮も同時に高まっている。

Jay Greenberg, www.nnettle.com

October 20, 2017



養育施設の子供たちは、ペドファイルたちに与えられた後、消えてしまう

営利事業としての里親施設の子供たちが、ペドファイルたちの保護のもとに移された後、驚くべき割合で死んでいることを、新しい研究が確認した。

このような死のショッキングな蔓延にもかかわらず、その様子は調査されておらず、現在、閉ざされている症例ファイルには、検死所見さえ付けられていないことが、2年に及ぶ調査結果から判明した。

この最新の研究によって暴かれた情報は、また、この慄然とする発見に対する、主流メディアの全面的な報道規制が加わり、その発表は抑圧されている。

新しい調査から、営利のために子供の世話をするこのモデルに、大きな穴があることがわかった。

特に子供たちが、ペドファイルの保護のもとに置かれる場合には、子供の福祉よりカネが優先する。

Intercept の報告によると、この調査は、上院会計委員会によって、珍しい2党制で行われ発表されており、里親保護サービスを提供する最大のプロバイダーの一つ、“MENTOR ネットワーク”を綿密に調べた。

<https://theintercept.com/2017/10/18/foster-care-children-deaths-mentor-network/>

こうした会社や団体は、里子たちを安全に預かる義務を負いながら、しばしば、最も基本的な保護を与えず、悲劇を防止する手順をおろそかにしていることが、この調査から明らかになった。

この報告のあと、MENTOR ネットワークの親会社“Civitas Solution”は、業績が急速に下降したが、新聞種になることがなかったために、速やかに回復した。

調査委員会のトップである民主党の Ron Wyden 上院議員は、この報告を同僚たちに見せ、彼と同僚理事の Orrin Hatch（共、ユタ）は、“大きな松明を周囲に灯して”、子供福祉システムの欠陥を修正することが、いかに急務かを知らせている。

この報告はひとつには、2年前の、バズフィード社によるこの会社への調査によって、促進された。調査委員会が明らかにしたところによると、10年という期間に86人の子供が、この会社の保護中に死亡し、会社が内部調査をしたのは13件だけだった。

https://www.buzzfeed.com/aramroston/fostering-profits?utm_term=.xvmrQnGkP#.jvbAjVRo1

里子をめぐる政治的問題は構造的なものである。ワシントン DC で、これほどロビイストの

力を持たないグループは考えられず、一方で、子供を預かる集団ホームは、互いにかかなりの利益をあげており、収入が減ることをひどく嫌っている。昨年遅くに、Hatch と Wyden は、集団ホームに家族の特権を与えるような法律を設けて、このシステムを改革するように運動したが、ノースカロライナの、あるバプティスト集団ホームのネットワークが、その選出上院議員を説得して、その法制化を邪魔させた。

https://www.huffingtonpost.com/entry/senator-blocks-foster-care-reform_us_584783d3e4b0b9feb0da3920



研究からのデータは、里親施設での死の数が異常に多いことを示している

一方、州の役所や裁判所は、子供の家庭にトラブルの様子が見えると、その子供をすぐにも家庭から引き離そうとする傾向がある。最も安全な行動は、彼らを親と一緒に置いておくよりも、離すことだという考えが一般的である。子供が家にいる間に何か悲劇が起こると、メディアは、両親を非難し、子供を放置しておいた組織に目を向ける。しかし悲劇が、集団ホームに急いで収容された子供に起こると、その死は、しばしば見過ごされる。

子供の福祉組織の欠陥は、「この国の深刻な道徳的汚点である」と、ワイデンは言い、子供たちは「将来、その背後に大勢のロビイストを持つことはない」のだから、このシステムの欠陥がいかに深刻かを人々に教えるのは、立法者の責任であると彼は言った。彼は、この報告書が、「家族第一主義」法案への反対者を、考え直させることを願っていると言った。

<https://waysandmeans.house.gov/wp-content/uploads/2016/06/Family-First-Prevention-Services-Act-Summary-061016.pdf>

大ざっぱに言って、1年に1,600人の子供が、虐待または放置によって死んでいる、と委員会は報告している。

「議員たちは、朝起きて、“さて今日は一日、子供たちにとって嫌なおじさんになって過ごす”とは言いません」と、ワイデンはこの報告の発表後に、Intercept 誌に答えた。「彼らは問題がどれほど大きいか、子供たちや家族がどれほど傷つきやすいか、そして、どれくらいこの制度が腐っているかの感覚を持っているとは思えません。だから、我々がやろうとしていることは、これを他の問題と一緒に彼らの目の前に突きつけて、彼らに、“おや、これは両党一致した問題ではないか。ここには 2 つのアプローチがあるのだ——やろう”と言わせることなのです。」

調査の結果、MENTOR が、死亡者数を調べていないことがわかった。死んだ子供たちの大多数は、その死が突然である場合でも、内部調査の対象になっていなかった。そして、あるべき検死報告はファイルから除かれていた。

「私たち MENTOR ネットワークは、施設に入っている他の子供たちと比較して、より高いリスクを背負った子供や若者たちを、かなり多く収容していて、国家の標準と同じくらいの子供の死亡率になっています」と、会社は委員会に対して説明した。

しかし理事委員会はそれを“虚偽”だとし、施設の子供たちの死亡率が、国家的平均よりも 42% も高いことを指摘した。

「この制度のギャップがあまりにも大きいので、これを憂慮し良い仕事をしようとする人たちに言わせれば、子供たちの劣悪な待遇の程度を跡付ける、方法すらないのです」と、ワイデンは言った。「調査を MENTOR ネットワークの深部まで行い、10 年という期間に、MENTOR の保護と管理のもとで死んだ子供たちの 70% が、突然死だったことを知るならば、誰だってこれを無視することはできないでしょう。」

この調査は、全 50 州からの情報を要求して行われたが、17 州は何も提出しようとしなかった。「あたかも、これらの州のマネージャーたちは、子供の保護など、後から考えることで、優先すべきことではないと思っているようだ」と、ワイデンは言った。

「これは頭で考えるようことではない。これは、最も傷つきやすいアメリカの子供たちから、健康で実り豊かな人生を奪うことなのです。」